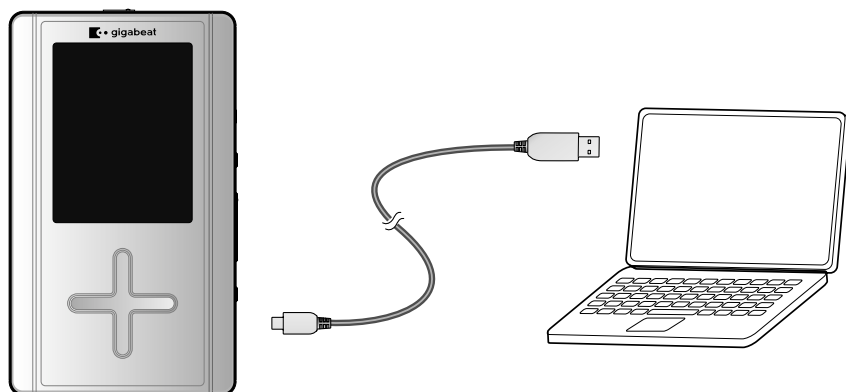
TOSHIBA

gigabeat F41 / F21 / F11

アプリケーションソフト

gigabeat room

取扱説明書

この取扱説明書では、東芝 HDD オーディオプレーヤー gigabeat と組み合わせて使うアプリケーションソフト gigabeat room のインストール方法と基本的な使いかた、および Windows Media Player 9 シリーズまたは Windows Media Player 10 を使っての転送の方法について説明しています。
gigabeat room をお使いになる前に、「東芝 HDD オーディオプレーヤー取扱説明書」もご覧ください 。

使用上のお願いとお知らせ

ソフトウェアおよび取扱説明書について

- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製することはできません。
- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書は、お客様のパソコン等で使用できます。
- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書によって機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 意匠、仕様、ソフトウェアおよびこの取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- この取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

商標について

- gigabeat は株式会社東芝の登録商標です。プラスタッチ、gigabeat room および RipRec は株式会社東芝の商標です。
- Microsoft 、Windows および Windows Media は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium はアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。
- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote および Gracenote CDDB® Music Recognition Service(SM) により提供されます。
  Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
  詳細については、次の Web サイトをご覧ください: www.gracenote.com

  Gracenote CDDB® からの CD および音楽関連データ: Copyright ©2000 - 2005 Gracenote.
  Gracenote CDDB Client Software: Copyright 2000 - 2005 Gracenote.
  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります:
  #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の特許は取得済みか、または申請中です。

  Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。
  Gracenote のロゴとロゴタイプ、CDDB のロゴとロゴタイプ、および“powered by Gracenote CDDB”ロゴは、Gracenote の商標です。

  Music Recognition Service および MRS は、Gracenote のサービス マークです。

  Gracenote CDDB® サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください:
  www.gracenote.com/corporate

著作権について

- お客様が記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法によって、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

オーディオデータについて

- 本製品やパソコンの不具合で、オーディオデータやその他のデータが破損または消去された場合、そのデータ内容の補償はできません。
- 転送したオーディオデータは、暗号化されているため、別の gigabeat や他のメディアにコピーしても再生できません。

アプリケーションのバージョンアップについて

- 出荷以降、より良くお使いいただくために、アプリケーションソフトのバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などはホームページに掲載いたします。
gigabeat ホームページ　http://www.gigabeat.net/

もくじ

はじめに

準備する

使用する

その他

gigabeat room とは

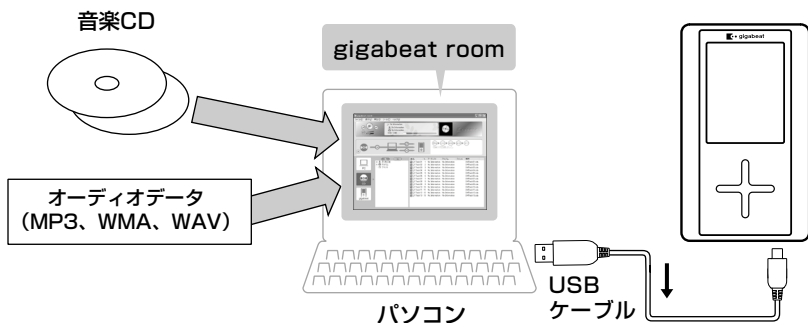
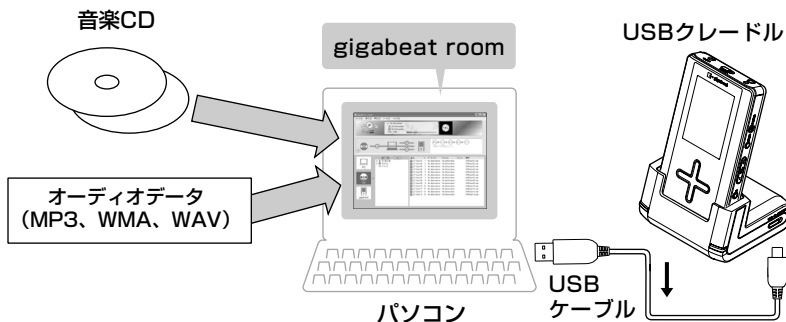
gigabeat room は、gigabeat と組み合わせて使うアプリケーションソフトです。

gigabeat room ができること

■ 音楽 CD とパソコンのオーディオデータの転送

音楽 CD のオーディオデータを WMA 形式にし、暗号化して gigabeat に転送できます。このとき、WMA ファイルはパソコン内には保存されません。

パソコン上のオーディオデータを、暗号化して gigabeat に転送できます。

●パソコンと gigabeat を直接接続

●パソコンと gigabeat を USB クレードルを使って接続
（USB クレードルは別売です。）

お知らせ

- gigabeat room を使って音楽 CD のオーディオデータをパソコンに保存することはできません。

■ ライブラリの管理

- パソコン内、gigabeat 内に保存されているオーディオデータのライブラリ（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト）を表示できます。
- パソコン内、gigabeat 内に保存されているタグ情報（用語➪「東芝 HDD オーディオプレーヤー取扱説明書」68 ページ）を編集できます。
- プレイリストの作成や編集ができます。

■ オーディオデータの再生

パソコン内、gigabeat 内、音楽 CD のオーディオデータを再生できます。

■ パソコンの画像ファイルを gigabeat に転送

gigabeat 上で画像を表示できます。

お願い

- gigabeat room、Windows Media Player 9 シリーズまたはWindows Media Player 10（以降Windows Media Player 9 シリーズ／10と記載します）を使ってgigabeatに転送したオーディオデータは、暗号化されているため、gigabeat 以外では再生できません。
- gigabeat room、Windows Media Player 9 シリーズ／10以外を使ってgigabeatにオーディオデータを入れても、gigabeat では再生できません。
- USB ハブを使用してパソコンと接続した場合の動作は保証できません。
- 本機種に付属のgigabeat room をインストールしたパソコンに、以前のバージョンのgigabeat（MEGF10/20/60）に付属のgigabeat roomがすでにインストールされている場合、以前の gigabeat も引き続きご使用できます。
  このとき、スタートメニューの「すべてのプログラム」（Windows 2000 では「プログラム」）から、「TOSHIBA gigabeat room 2.0」と「TOSHIBA gigabeat room」が選択できます。以前のバージョンの gigabeat を使用する場合は「TOSHIBA gigabeat room」の方をご使用ください。
  なお、gigabeatをパソコンにUSB接続した場合に自動的に起動するのは「TOSHIBA gigabeat room 2.0」の方ですので、以前のバージョンの gigabeat を接続した場合は、起動した gigabeat room を終了させてから、「TOSHIBA gigabeat room」の方の gigabeat room を起動してください。

gigabeat room に必要なシステム

適応パソコン： IBM PC/AT 互換機

- OS： Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
  （いずれも標準インストール、日本語版のみ）
- CPU： Pentium® II 300MHz 以上（Pentium® III 1GHz 以上を推奨）
- メモリ： 128MB 以上
- ハードディスク空き容量： オーディオデータを除き 100MB
- USB ポート
- CD-ROM ドライブ
- Internet Explorer 5.01 以降（2005 年 2 月現在。将来のバージョンでは動作保証できないことがあります。）
- Windows Media® Player 9 シリーズ以降

お願い

- すべてのパソコンの動作を保証するものではありません。
- 自作パソコンは動作保証いたしません。
- OSをアップグレードする場合は、事前にgigabeat roomを一旦アンインストールし、OS をアップグレードしたあとに再度インストールしてください。
- Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professionalでgigabeat roomをお使いになるには、管理者(Administrator)の権限が必要です。
- Dual CPU 構成の Windows 2000 Professional、Windows XP Professional システムおよびハイパー・スレッディング・テクノロジ インテル Pentium4 プロセッサを搭載した Windows XP Home Edition / Professional では、動作を保証しておりません。
- セキュリティシステムの処理上、他のセキュリティシステムを採用しているアプリケーションと同時に使用した場合は、アプリケーションのロック、システムの再起動などの問題が発生する場合があります。
- gigabeat roomとTOSHIBA Audio ApplicationまたはTOSHIBA Audio Managerは、同時に起動することができません。
- gigabeat room、TOSHIBA Audio Application、TOSHIBA Audio Managerのうち、ふたつ以上がインストールされている場合、どれかひとつをアンインストールすると、ほかのソフトウェアが起動しなくなる場合があります。その場合は、各ソフトウェアの CD-ROM をパソコンに挿入し、再インストールしてください。

アプリケーションソフトをインストールする

gigabeat room、Windows Media driver for gigabeatをインストールします。インストールする前に、ほかのアプリケーションを終了してください。
gigabeatやUSBクレードル（別売）は、アプリケーションソフトのインストールをしてから接続してください。

1 付属のソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

CD-ROMが自動認識され、セットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面が表示されない場合は、エクスプローラなどからCD-ROMの中の「Install.exe」をダブルクリックしてください。

2 「アプリケーションソフトウェアのインストール」ボタンをクリックする

インストールの準備画面を表示後、ウィザード画面が表示されます。

3 「次へ」ボタンをクリックする

「gigabeat applicationsのインストールウィザード」が開始されます。

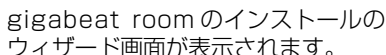
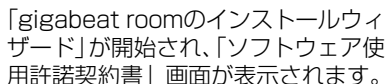
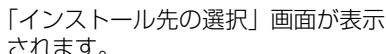
はじめに
準備する
使用する
その他

4 「次へ」ボタンをクリックする

gigabeat room のインストールのウィザード画面が表示されます。

5 「次へ」ボタンをクリックする

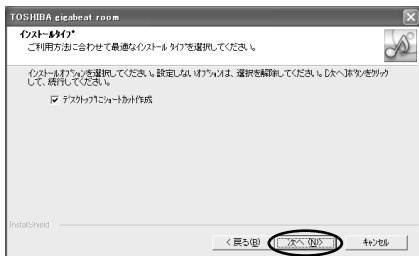
「gigabeat roomのインストールウィザード」が開始され、「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。

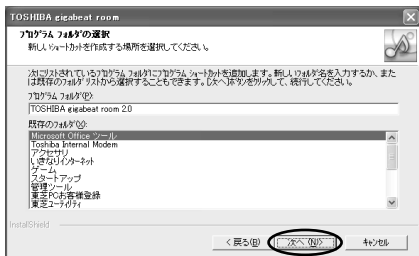
6 内容をよく読み、同意の上で「同意する」ボタンをクリックする

「インストール先の選択」画面が表示されます。
お使いのパソコンの環境によって表示される内容が異なる場合があります。

7 インストール先を指定し、「次へ」ボタンをクリックする

「インストールタイプ」画面が表示されます。

「インストールタイプ」画面内のチェックボックスの内容を確認してください。

8 「次へ」ボタンをクリックする

「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。

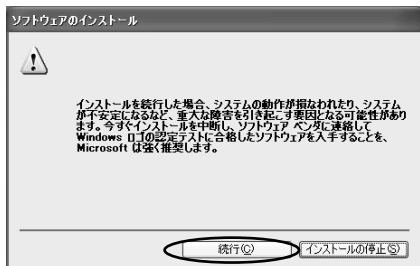
9 「次へ」ボタンをクリックする

インストールが開始されます。インストールが完了すると、gigabeat room のインストールウィザードの完了画面が表示されます。

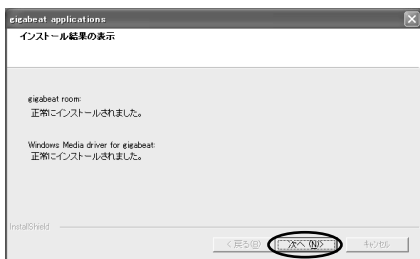
はじめに
準備する
使用する
その他

10 「完了」ボタンをクリックする

「ソフトウェアのインストール」画面が表示されます。

お使いのパソコンの OS によっては「ソフトウェアのインストール」画面は表示されません。手順 12 へ進んでください。

11 「続行」ボタンをクリックする

「Windows Media driver for gigabeat」がインストールされます。インストールが完了すると、「インストール結果の表示」画面が表示されます。

12 「次へ」ボタンをクリックする

gigabeat applications のインストールウィザードの完了画面が表示されます。

13 「完了」ボタンをクリックする

オーディオデータを gigabeat に転送する手順

gigabeat room を使って、パソコンからオーディオデータを gigabeat に転送します

gigabeatとパソコンを直接接続

1. 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
2. パソコンとgigabeatを接続する
⇨16ページ
3. gigabeat roomを起動する
⇨19ページ
4. オーディオデータをgigabeatに転送する
⇨24ページ
5. gigabeatをパソコンから取りはずす
⇨18ページ

USBクレードル（別売）を使ってgigabeatとパソコンを接続

1. 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
2. USBクレードル（別売）を使ってパソコンとgigabeatを接続する
⇨16ページ
3. USBクレードル（別売）の ➔ ボタンを押してオーディオデータを転送する
⇨25ページ
4. gigabeatをパソコンから取りはずす
⇨18ページ

Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 を使って gigabeat にオーディオデータを転送することもできます。
「Windows Media Player9 シリーズ／ 10 を使用するときは」⇨46 ページ

■ Windows Media Player 9シリーズ／10でオーディオデータを取り込む場合のお願い

Windows Media Playerで音楽CDからオーディオデータをパソコンに取り込む場合は、以下の設定をしてください。

Windows Media Player 9シリーズの場合

1 「ツール」メニューの「オプション」を選びます。

2 「音楽の録音」タブを選びます。

3 「保護された音楽を録音する」のチェックをはずします。

Windows Media Player 10の場合

1 「ツール」メニューの「オプション」を選びます。

2 「音楽の取り込み」タブを選びます。

3 「取り込んだ音楽を保護する」のチェックをはずします。

パソコンと gigabeat を接続する

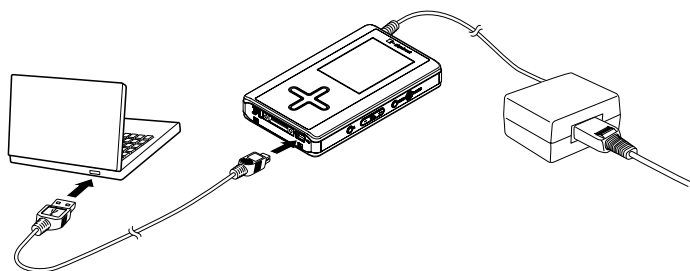
gigabeatにオーディオデータを転送するため、パソコンとgigabeatをUSB接続します。ネットワークを使って接続する方法は、「ネットワーク編　取扱説明書」をご覧ください。

1 パソコンを起動する

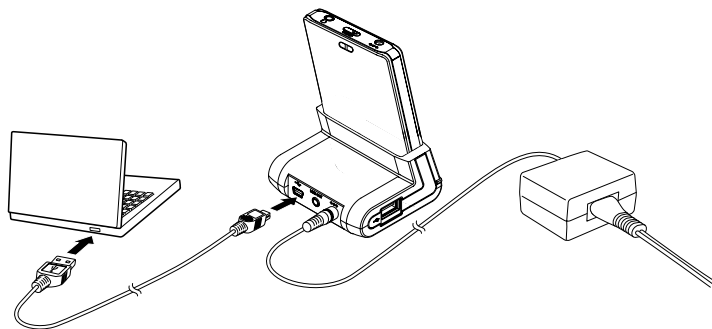
2 gigabeatにＡＣアダプターを接続し、gigabeatの電源を入れる

「内蔵電池を充電する」➡「東芝HDDオーディオプレーヤー取扱説明書」31 ページ

3 USB ケーブルを使って、パソコンと gigabeat を接続する

● パソコンと gigabeat を直接接続

パソコンにgigabeatを初めて接続すると、gigabeatが自動的に検出され、ドライバが自動的にインストールされます。

● パソコンと gigabeat を USB クレードル（別売）を使って接続

USB クレードル（別売）の USB ／ LINE 切換スイッチを「USB」にしてください。

パソコンに初めて接続した場合、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。このときは付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROM ドライブに入れてください。必要なドライバが自動的にインストールされます。

はじめに
準備する
使用する
その他

お願い

- パソコンとgigabeatをUSB接続してデータ転送などをするときは、ACアダプターを接続してください。
  ACアダプターを接続していないと、電池の消耗によってgigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。
- パソコンからデータの転送をしているときは、ACアダプターやUSBケーブルを抜いたり、USBクレードル（別売）からgigabeatを抜いたりしないでください。gigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。

お知らせ

- gigabeat本体の設定画面の「PC接続方法」を「接続時に選択」に設定した場合は、パソコンと接続時、「gigabeat room」を使うか「Windows Media Player10」を使うかのメッセージが表示されます。通常は「gigabeat room」を選択してください。Windows Media Player 10のサブスクリプションに対応させる場合は、USBクレードル（別売）経由で接続して「Windows Media Player 10」を選択してください。本体のUSBコネクターに直接接続した場合は「gigabeat room」を選択した場合と同じ動作になり、サブスクリプションに対応しません。
  「PC接続方法」⇨「東芝HDDオーディオプレーヤー取扱説明書」65ページ
- パソコンとgigabeatを接続したときは、gigabeatの表示画面に「USB接続中」と表示されます。
- 「USB接続中」のときは、gigabeatの操作はできません。また、再生中に接続すると、再生は止まります。

パソコンから gigabeat を取りはずす

パソコンから gigabeat を取りはずすには、以下の手順で行ってください。
パソコンからの取りはずしについて、詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ Windows 2000 Professional の場合

1 タスクバーの 「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」をクリックする

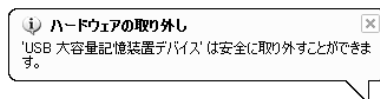
2 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します をクリックする

3 右のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く

■ Windows XP Home Edition/Windows XP Professional の場合

1 タスクバーの 「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックする

2 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します をクリックする

3 右のメッセージが表示されたら、メッセージをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く

※ 手順２の画面はドライブ(E)を取りはずす例になっていますが、お使いのパソコンの環境によって、ドライブは変わります。

お知らせ

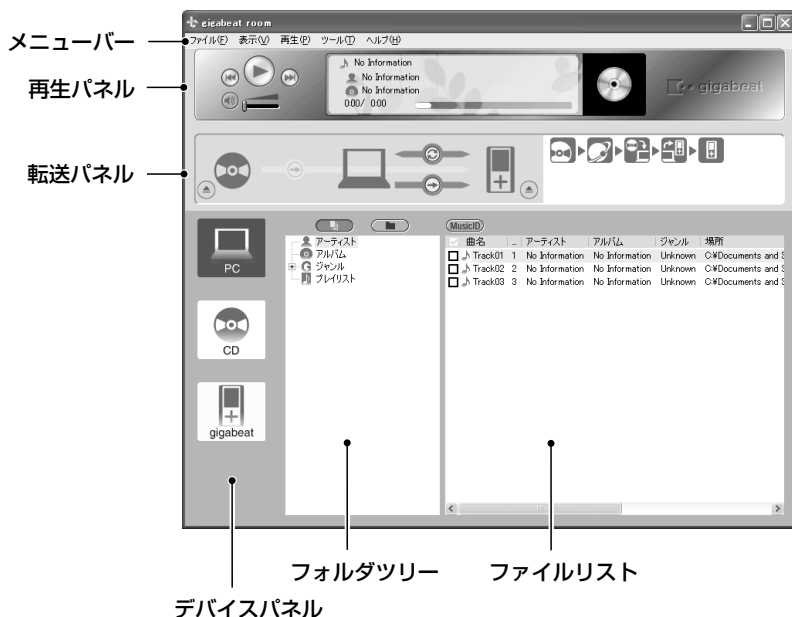
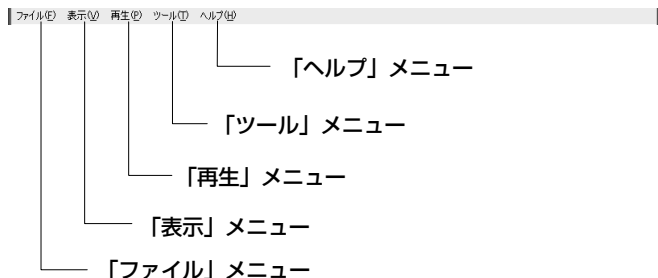
- gigabeat room の転送パネルの gigabeat 取り外しボタン（⇨22 ページ）をクリックしても取りはずせます。

gigabeat room を起動する

起動のしかた

1 スタートメニューの「すべてのプログラム」※から「TOSHIBA gigabeat room 2.0」の「gigabeat room 2.0」をクリックする

gigabeat room のメイン画面が表示されます。
※ Windows 2000 の OS の場合は「プログラム」と表示されます。
最初に起動したとき、パソコン内のライブラリ（⇨23ページ）を作成するかどうかを聞いてきます。作成する場合は、「はい」を、作成しない場合は「いいえ」を選択してください。ここで「いいえ」を選択しても、ライブラリの更新（⇨38ページ）をすれば、ライブラリを作成できます。

gigabeat room のメイン画面について

■ メニューバー

●「ファイル」メニュー

新規プレイリスト	新しくプレイリストを作成します。
ブックマークをプレイリストに変換	gigabeat のブックマークをプレイリストに変換します。
プレイリスト編集	選んだプレイリストを編集します。
削除	選んだフォルダやファイルを削除します。
フォルダ作成	新しくフォルダを作成します。
名前の変更	選んだフォルダやファイルの名前を変更します。
プロパティ	選んだフォルダやファイルのプロパティを表示します。
終了	gigabeat room を終了します。

●「表示」メニュー

表示モード	ライブラリビュー *1 とフォルダビュー *2 を切り換えます。
ドライブの選択	表示するドライブを選択します。
1 つ上の階層へ	現在表示しているフォルダの一つ上のフォルダを表示します。
最新の状態に更新	フォルダやファイルを最新の状態で再表示します。

●「再生」メニュー

再生／一時停止	選んだオーディオデータを再生します。再生中は一時停止します。
前へ	前のオーディオデータへスキップします。
次へ	次のオーディオデータへスキップします。
1 曲再生	チェックすると、一つのオーディオデータを再生します。
連続再生	チェックすると、オーディオデータを繰り返し再生します。
音量	音量を上げる／下げる／ミュートします。

●「ツール」メニュー

ライブラリ更新	ライブラリを最新の状態に更新します(⇨38 ページ)。
ライブラリに登録された曲数	ライブラリに登録されたオーディオデータの数を表示します。
同期	同期フォルダをフォルダごと gigabeat に転送します(⇨39 ページ)。
RipRec の実行	音楽CDからオーディオデータを取り込んでgigabeatに転送します。
PC から gigabeat への転送	gigabeat へオーディオデータを転送します。
CD の取り出し	CD を取り出します。

ネットワークドライブの割り当て／切断	gigabeatを指定したドライブに割当て／切断します（「ネットワークに接続／切断する」⇨「ネットワーク編　取扱説明書」10ページ）。	
曲情報編集	曲情報を編集するための画面を表示します(⇨36ページ)。	
フォトブラウザ	画像ファイルを表示します(⇨44ページ)。	
Gracenote	Gracenoteへの登録	Gracenote CDDBへの登録画面を表示します(⇨32ページ)。
	プロキシの変更	Gracenote CDDBに接続する場合のプロキシサーバーの設定をします。
	Gracenoteへ送信	変更した内容をGracenote CDDBに送信します。
	CD詳細情報	CDの詳細情報を表示します。
	Gracenote MusicID -トラック検索	Gracenote CDDBに接続し、トラックの情報を検索し、取得します(⇨34ページ)。
	Gracenote MusicID -アルバム検索	Gracenote CDDBに接続し、アルバムの情報を検索し、取得します(⇨35ページ)。
	Gracenote Playlist	Gracenote Playlist機能でプレイリストを自動で作成する画面を表示します(⇨33ページ)。
オプション	同期フォルダの設定(⇨39ページ)、通信の設定（「ネットワークの設定をする」⇨「ネットワーク編　取扱説明書」8ページ)、オーディオデータ転送の設定(⇨42ページ)をします。	

●「ヘルプ」メニュー

バージョン情報　　バージョン情報を表示します。

*1　ライブラリビュー　：ライブラリ（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト）をツリー構造で表示します。
*2　フォルダビュー　：フォルダをツリー構造で表示します。

■ ショートカットメニュー

フォルダやファイルを選んで右クリックすると、以下のような項目がショートカットメニューで表示されます。

フォルダやプレイリストを選んだ場合

削除
フォルダ作成
名前の変更
プレイリスト編集
gigabeatへ転送
プロパティ

ファイルを選んだ場合

曲情報編集
削除
フォルダ作成
名前の変更
プレイリストへ追加
gigabeatへ転送
Gracenote MusicID
プロパティ

以下を除き、メニューバーから選んだメニューと同じ操作です。
プレイリストへ追加 ： 選んだオーディオデータをプレイリストに追加します。

gigabeat room を起動する（つづき）

■ 再生パネル

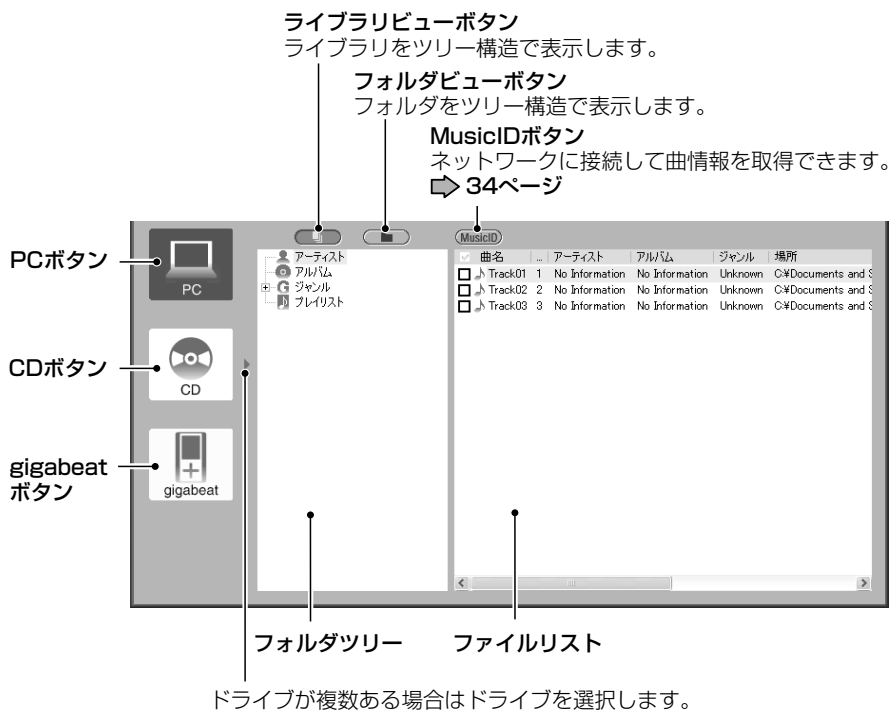
■ 転送パネル

ライブラリを見る

オーディオデータのライブラリ（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト）を見ることができます。

1 デバイスパネルの「PC ボタン」をクリックする

パソコン内のライブラリが表示されます。

- 「CD ボタン」をクリックすると、CD 内のライブラリを見ることができます。
- 「gigabeat ボタン」をクリックすると、接続した gigabeat 内のライブラリを見ることができます。

お知らせ

- ライブラリを利用するには、ライブラリの更新（➡38ページ）をして、ライブラリ用のデータベースを作る必要があります。
- フォルダツリーに表示されるドライブまたはフォルダのアイコンの左側にある⊞/⊟をクリックすることで、下のフォルダの表示／非表示が切り換えられます。
- 「表示」メニューの「フォルダビュー」を選ぶと、PC または gigabeat 内のフォルダツリーをそのまま表示します。
- 音楽 CD のフォルダビューは選べません。

音楽CDのオーディオデータをgigabeatに転送する

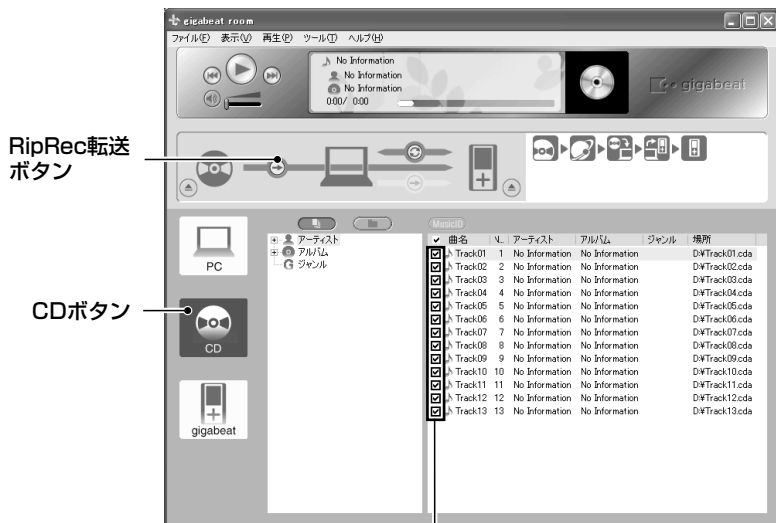
音楽 CD のオーディオデータを直接 gigabeat に転送できます。

1 パソコンの CD-ROM ドライブに音楽 CD を入れる

2 パソコンとgigabeatを接続し、gigabeat roomを起動する

「パソコンと gigabeat を接続する」➡16 ページ
「gigabeat room を起動する」➡19 ページ

3 「CD ボタン」をクリックし、転送パネルの「RipRec 転送ボタン」をクリックする

音楽 CD のオーディオデータの転送が始まります。

お知らせ

- 「ツール」メニューの「RipRec の実行」をクリックしても転送できます。
- WMA のビットレートは、「ツール」メニューの「オプション」で設定できます。
  「オーディオデータ転送の設定をする」➡42 ページ
- gigabeat roomは、Gracenote CDDB（CDデータベース）（用語➡「東芝HDDオーディオプレーヤー取扱説明書」68ページ）に対応しています。インターネットに接続している場合は、音楽ＣＤをパソコンのドライブに入れると、自動的に Gracenote CDDBにアクセスしてＣＤの情報を検索・ダウンロードし、曲名・アーティスト名などといった情報を取り込みます。
  「Gracenote CDDB から音楽情報を取得する」➡32 ページ
- オーディオデータをパソコンに取込み、保存することはできません。
- 暗号化されたオーディオデータは、「(元のオーディオデータ名).SAT」という名前になります。

ワンタッチで音楽CDのオーディオデータを転送する

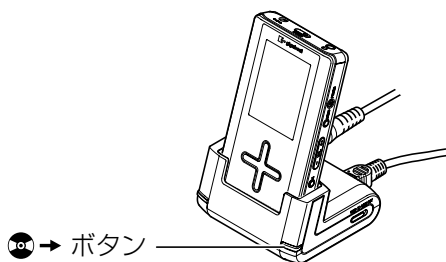
USBクレードル（別売）の ➜ボタンを使って、音楽CDからオーディオデータをワンタッチでgigabeatに転送できます。

1 USBクレードル（別売）を使って、パソコンとgigabeatを接続する

「パソコンとgigabeatを接続する」➡16ページ

2 パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れる

3 USBクレードル（別売）の「 ➜」ボタンを押す

gigabeat roomが自動的に起動し、音楽CDのオーディオデータ転送が始まります。

お知らせ

- 暗号化されたオーディオデータは、「(元のオーディオデータ名).SAT」という名前になります。
- ➜ボタンを使ってオーディオデータの転送を行うには、パソコン上でgigabeat watcherが起動している必要があります。タスクバーにgigabeat watcherのアイコン が表示されていることを確認してください。起動していない場合は、スタートメニューの「すべてのプログラム」から「TOSHIBA gigabeat room 2.0」の「gigabeat watcher 2.0」をクリックし、起動させてください。

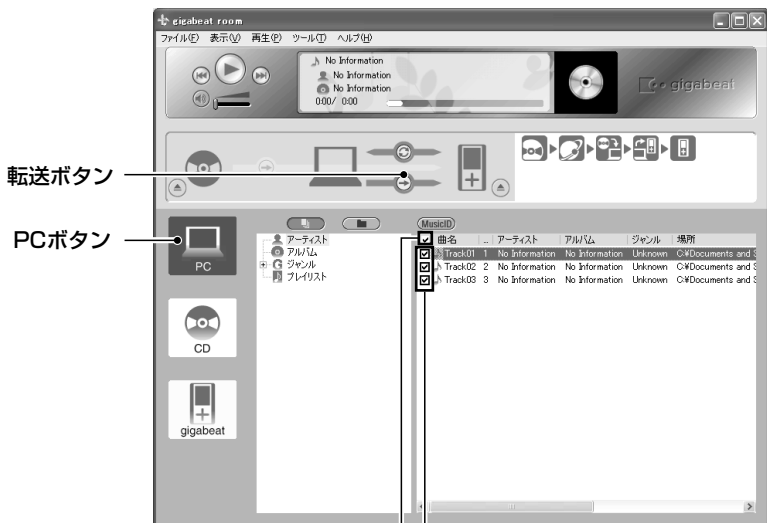
はじめに
準備する
使用する
その他

オーディオデータを gigabeat に転送する

パソコン内の MP3、WMA、WAV のオーディオデータを gigabeat に転送できます。

1 パソコンとgigabeatを接続し、gigabeat roomを起動する

「パソコンと gigabeat を接続する」➡16 ページ
「gigabeat room を起動する」➡19 ページ

2 デバイスパネルの「PC ボタン」をクリックする

パソコン内のライブラリが表示されます。

3 転送したいオーディオデータにチェックをつけて、転送パネルの「転送ボタン」をクリックする

選んだオーディオデータを暗号化したものが gigabeat に転送されます。
以下の三つの方法でもオーディオデータの転送ができます。

- 「ツール」メニューの「PC から gigabeat への転送」をクリックする。
- 選んだオーディオデータを右クリックし、表示されたショートカットメニューから、「gigabeat へ転送」をクリックする。
- 選んだオーディオデータをデバイスパネルの「gigabeatボタン」にドラッグ＆ドロップする。

お知らせ

- 同期フォルダ（⇨39 ページ）で設定したフォルダ（初期値は「My Music」）と同じ名前のフォルダを gigabeat 内に作成し、そのフォルダに転送されます。
- 暗号化されたオーディオデータは、「(元のオーディオデータ名).SAT」という名前になります。
- gigabeat に転送しても、パソコン内の元のオーディオデータは残ります。
- gigabeatに転送されたオーディオデータをパソコンにコピーしても（戻しても）、暗号化されたままで、元の MP3、WMA、WAV ファイルには戻りません。
- エクスプローラからオーディオデータを「gigabeat ボタン」にドラッグ＆ドロップしても転送できます。
- 「同期」機能を使って転送することもできます（⇨39 ページ）。
- ライセンス付き WMA ファイルも転送できます。(「ツール」メニューの「オプション」をクリックして表示した「オプション設定」画面（⇨39 ページ）の、「一般」タブの「保護されたコンテンツも転送する」にチェックがついている必要があります。チェックをはずすと高速転送になります。) ただしDRM10以降のWindows Mediaデジタル著作権管理（DRM）が使われた WMA ファイルの場合は、gigabeat 本体の設定画面の「PC 接続方法」を「Windows Media Player 10」に設定して必ず、USB クレードル（別売）経由で Windows Media Player10 を使って転送してください。
  「PC 接続方法」⇨「東芝 HDD オーディオプレーヤー取扱説明書」65 ページ
- gigabeat room で WMA Professional/WMA Lossless/WMA Voice フォーマットのオーディオデータは転送できません。
- gigabeat に転送できるファイルの種類と拡張子は以下のとおりです。
  WMA ファイル：「.wma」
  MP3 ファイル：「.mp3」
  WAV ファイル：「.wav」
- ファイル名の長さが86文字以上またはファイル名を含むフルパス長が256文字以上の場合は、ファイル名を短縮（(８文字）.（拡張子）.SAT）して転送します。

オーディオデータを gigabeat から削除する

gigabeat に転送したオーディオデータを削除できます。

1 パソコンとgigabeatを接続し、gigabeat roomを起動する

「パソコンと gigabeat を接続する」➡16 ページ
「gigabeat room を起動する」➡19 ページ

2 デバイスパネルの「gigabeat ボタン」をクリックする

gigabeat 内のライブラリが表示されます。

3 削除したいオーディオデータを選び、「ファイル」メニューの「削除」をクリックする

「ファイルの削除の確認」画面が表示され、「はい」をクリックすると、選んだオーディオデータがごみ箱に移動します。
オーディオデータを右クリックし、表示されたショートカットメニューから「削除」を選んでも削除できます。

お知らせ

- 「削除」をしてもオーディオデータはごみ箱に移動するだけで、gigabeatの空き容量はふえません。オーディオデータを削除してgigabeatの空き容量をふやすには、ごみ箱を空にしてください。

プレイリストを作成する

指定したオーディオデータを再生するプレイリストを作成できます。

1 「ファイル」メニューの「新規プレイリスト」をクリックする

「新規プレイリスト」という名前のプレイリストが作成されます。
プレイリストを右クリックし、表示されたショートカットメニューから、「名前の変更」をクリックして、名前を変更できます。「ファイル」メニューの「名前の変更」をクリックしても名前を変更できます。

2 プレイリストに追加したいオーディオデータを右クリックする

3 表示されたショートカットメニューの「プレイリストへ追加」をクリックする

4 表示されたプレイリスト名リストから作成したプレイリスト名をクリックする

作成したプレイリストに選んだオーディオデータが追加されます。

お知らせ

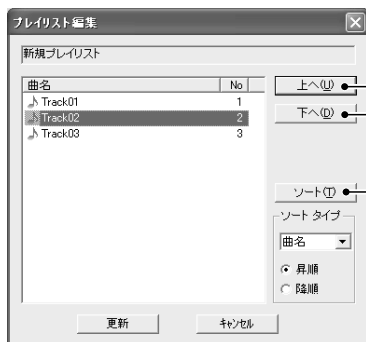
- 選べるファイルは、パソコンではMP3、WMA、WAVの３種類で、gigabeatではSATファイルだけです。
- プレイリストの再生は、上から順に行われます。
- デバイスパネルのgigabeatを選択し、「ファイル」メニューの「ブックマークをプレイリストに変換」をクリックすると、gigabeatで作成したブックマークをプレイリストに変換します。

プレイリストを編集する

作成したプレイリスト内のオーディオデータの順番を変更できます。

1 プレイリストを選び、「ファイル」メニューの「プレイリスト編集」をクリックする

「プレイリスト編集」画面が表示されます。

2 「上へ」ボタンまたは「下へ」ボタンをクリックして、順番を変更する

3 「更新」ボタンをクリックする

プレイリストが更新されます。

お知らせ

- 選んだプレイリストを右クリックし、表示されたショートカットメニューから、「プレイリスト編集」をクリックしてもプレイリストを編集できます。
- プレイリストからオーディオデータを削除するには、プレイリストを選んで、中のオーディオデータを表示させ、削除したいオーディオデータを選んで削除してください。

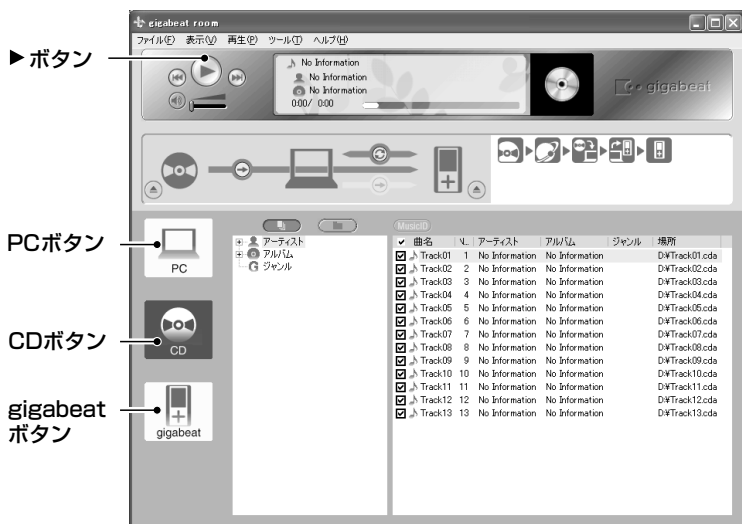
再生する

再生パネルを使って、音楽CD、パソコン内、gigabeat内のオーディオデータを再生できます。

1 「CDボタン」または「PCボタン」または「gigabeatボタン」をクリックする

CD内またはパソコン内またはgigabeat内のライブラリが表示されます。

2 再生したいオーディオデータを選び、再生パネルの▶ボタンをクリックする

選んだオーディオデータを再生します。
また、再生パネルを使っていろいろな操作ができます（⇨22ページ）。

お知らせ

- オーディオデータをダブルクリックしても再生できます。
- エクスプローラ上で、gigabeatに転送したオーディオデータ（SATファイル）をダブルクリックすると、gigabeat roomが起動します。

Gracenote CDDB から音楽情報を取得する

Gracenote CDDB（CD データベース）に登録すると、インターネットに接続して、CD の音楽情報を取得できます。

Gracenote CDDB を登録する

インターネットに接続して Gracenote CDDB に登録し、CD の情報を取得できるようにします。

1 「ツール」メニューの「Gracenote」から「Gracenote への登録」をクリックする

Gracenote CDDB の登録の画面が表示されます。

2 画面に従って登録する

お知らせ

- プロキシサーバーを使ってインターネットに接続する場合は、先に「ツール」メニューの「Gracenote」から「プロキシの変更」をクリックして、プロキシサーバーの設定をしてください。
- Gracenote への登録を完了させると、以降「ツール」メニューの「Gracenote への登録」は選択できなくなります。

Gracenote CDDB から音楽情報を取得する

インターネットに接続して、Gracenote CDDB から情報を取得します。

1 パソコンの CD-ROM ドライブに音楽 CD を入れる

2 デバイスパネルの「CD ボタン」をクリックする

Gracenote CDDB のサーバーに接続し、その音楽 CD のアルバム名、アーティスト名、曲名などの音楽情報を取得します。

お知らせ

- 「ツール」メニューの「Gracenote」から「CD 詳細情報」をクリックすると、CD の詳細情報が表示されます。
- Gracenote CDDB から取得した CD に関する情報を変更して、Gracenote CDDB に送ることができます。「ツール」メニューの「Gracenote」から「Gracenote へ送信」をクリックしてください。

Gracenote Playlistを使ってプレイリストを作成する

Gracenote Playlist 機能を使って、簡単にプレイリストを作成できます。

1 gigabeat内のライブラリビューにしてオーディオデータを選び、「ツール」メニューの「Gracenote」から「Gracenote Playlist」をクリックする

プレイリスト作成画面が表示されます。

2 プレイリスト作成画面上の「Gracenote Playlist用ライブラリの更新」ボタンをクリックする

Gracenote CDDBサーバーに接続し、gigabeat内のオーディオデータの情報を取り込むとともに、Gracenote Playlist 用のライブラリを更新します。

3 プレイリスト名欄にプレイリストの名前を入力する

4 作成規則（年／アーティスト／制限時間）を入れる

5 「作成」ボタンをクリックする

作成規則に適合したオーディオデータが抽出され、右の欄に表示されます。

6 「保存」ボタンをクリックする

右の欄のオーディオデータを集めたプレイリストが、入力したプレイリスト名で保存されます。

Gracenote MusicID を使って曲情報を取得する

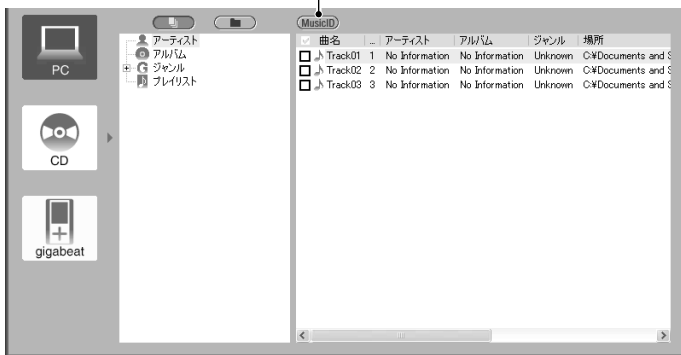
Gracenote MusicID 機能を使って、曲（オーディオデータ）のタグ情報を付け直すことができます。

トラック検索をする

1 検索したいオーディオデータを選び、MusicID ボタンをクリックする

Gracenote CDDB サーバーに接続し、トラック検索結果の画面が表示されます。

オーディオデータを複数選んでアルバム検索／トラック検索の両方が可能な場合は、アルバム検索を行うかどうかの画面が表示されますので、トラック検索を行う場合は、「いいえ」をクリックしてください。

MusicIDボタン

2 適用したい情報を選び、「適用」ボタンをクリックする

選んだ情報が、タグ情報（曲情報）に付け直されます。

お知らせ

- 「ツール」メニューの「Gracenote」から「Gracenote MusicID- トラック検索」をクリックしてもトラック検索が行えます。
- Gracenote MusicIDは、ライセンス付きWMAファイル、パソコン内のＷＡＶファイルには対応していません。

はじめに
準備する
使用する
その他

アルバム検索をする

1 検索したい複数のオーディオデータを選び、MusicIDボタンをクリックする

Gracenote CDDBサーバーに接続し、アルバム検索結果の画面が表示されます。
アルバム検索を行うかどうかの画面が表示されますので、アルバム検索を行う場合は、「はい」をクリックしてください。

2 情報を適用したいアルバムを選ぶ

3 「適用」ボタンをクリックする

選んだ情報が、タグ情報（曲情報）に付け直されます。

お知らせ

- 「ツール」メニューの「Gracenote」から「Gracenote MusicID-アルバム検索」をクリックしてもアルバム検索が行えます。

曲情報を編集する

それぞれの曲情報（タイトル、アーティスト名、アルバム名など）を変更できます。

1 オーディオデータを選び、「ツール」メニューの「曲情報編集」をクリックする

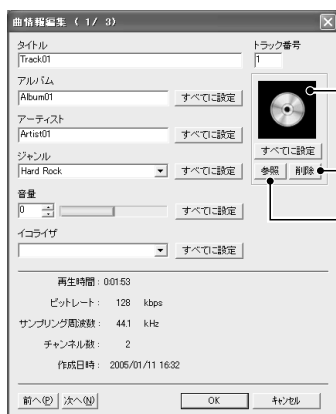
「曲情報編集」画面が表示されます。

2 曲情報を変更し、「OK」ボタンをクリックする

曲情報が変更され、ライブラリが自動的に更新されます。

お知らせ

- gigabeat内のアーティスト／アルバム／ジャンルを選んで、「ツール」メニューの「曲情報編集」をクリックしても、「曲情報編集」画面を表示できます。
- パソコンのフォルダビューで、オーディオデータを選んでも曲情報編集はできません。
- 「すべてに設定」ボタンをクリックすると、選択しているすべてのオーディオデータに設定した値を反映します。
- オーディオデータをひとつだけ選んだ場合は、「すべてに設定」ボタンは表示されません。
- オーディオデータをひとつだけ選んだ場合は、「前へ」、「次へ」ボタンは選択できません。

■ ジャケット写真の設定について

ジャケット写真のデータは、gigabeatへ転送され、再生画面などで表示されます。

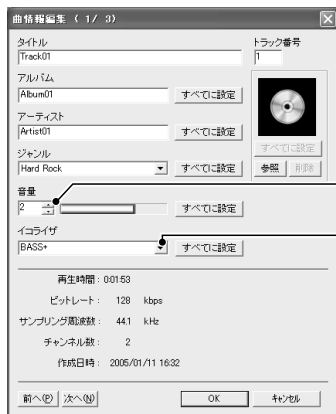
ジャケット写真表示
ジャケット写真の情報を取り込んだ場合はジャケット写真が表示されます。

ジャケット写真の表示を消します。

表示するジャケット写真のファイルを設定します。

お知らせ

- CDのオーディオデータにジャケット写真を貼り付けることはできません。
- パソコン内のオーディオデータのジャケット写真は、タグ情報から自動的に貼り付けられます。タグ情報にない場合は、同一フォルダ内にある最初に見つかった画像が貼り付けられます。パソコン内のオーディオデータは、「参照」ボタンでジャケット写真を指定することはできません。
- 「ジャケット写真表示」に画像ファイルをドラッグ＆ドロップしても、ジャケット写真を設定できます（gigabeat内のオーディオデータに対してだけ）。

■ 音量とイコライザの設定について

音量を設定します。基準値を0として±5まで変更できます。

イコライザを設定します。イコライザの種類を選んで設定できます。

gigabeatで再生するとき、ここで設定した音量と音質で再生したいときは、gigabeat本体の設定画面の「プリセット音量」や「プリセットイコライザ」を「オン」にします。

ライブラリを更新する

パソコン内または gigabeat 内のライブラリを更新することができます。
ライブラリの更新には、自動更新と手動更新があります。

■ ライブラリの自動更新について

gigabeat内のライブラリは、パソコンからgigabeatにオーディオデータを転送したときに自動的に作成されます。ライブラリに登録されるのは、gigabeat roomを使って転送したオーディオデータだけです。SATファイルの曲情報編集時もライブラリが更新されます。
パソコン内のライブラリは、「同期」フォルダの下にあるオーディオデータだけが対象となります。

お願い

- エクスプローラなどでファイルの削除や名前の変更をした場合、ライブラリは更新されません。手動でライブラリを更新してください。

ライブラリを手動で更新する

1 「PC ボタン」または「gigabeat ボタン」をクリックする

パソコン内または gigabeat 内のライブラリが表示されます。

2 「ツール」メニューの「ライブラリ更新」をクリックする

パソコン内のライブラリを表示していたときはパソコン内のライブラリが更新され、gigabeat内のライブラリを表示していたときは、gigabeat内のライブラリが更新されます。

お願い

- エラーなどで中止された場合は、エラーの原因を取り除いた上で、もう一度更新をしてください。
- 「ツール」メニューの「ライブラリに登録された曲数」をクリックすると、ライブラリに登録されたオーディオデータの数を表示できます。

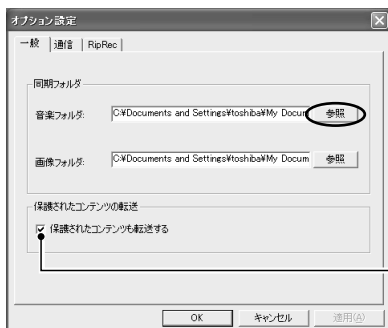
同期フォルダを設定 / 転送する

パソコンに同期フォルダを設定しておくと、同期フォルダをフォルダごとgigabeatに転送できます。

同期フォルダを設定する

1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」画面が表示されます。

2 「一般」タブの「同期フォルダ」の「音楽フォルダ」の横の「参照」ボタンをクリックする

「フォルダの参照」画面が表示されます。

保護されたコンテンツも転送する場合は、チェックを入れてください。

3 音楽ファイルの同期フォルダに設定したいフォルダを選び「OK」ボタンをクリックする

「オプション設定」画面に戻ります。

はじめに
準備する
使用する
その他

4 一般タブの「同期フォルダ」の「画像フォルダ」の横の「参照」ボタンをクリックする

「フォルダの参照」画面が表示されます。

5 画像ファイルの同期フォルダに設定したいフォルダを選び「OK」ボタンをクリックする

「オプション設定」画面に戻ります。

6 「OK」ボタンをクリックする

「オプション設定」画面が閉じ、同期フォルダが設定されます。

同期フォルダを転送する

1 パソコンと gigabeat を接続する

2 「ツール」メニューの「同期」をクリックする

同期フォルダに設定したフォルダごと gigabeat に転送されます。
転送パネルの「同期ボタン」をクリックしても転送できます。

ワンタッチで同期フォルダを転送する

1 USB クレードル（別売）を使って、パソコンと gigabeat を接続する

「パソコンと gigabeat を接続する」➡16 ページ

2 USB クレードル（別売）の「↻」ボタンを押す

gigabeat roomが自動的に起動し、同期フォルダに設定したフォルダごとgigabeatに転送されます。

gigabeat room が起動しているときは、転送パネルの「同期ボタン」または「ツール」メニューの「同期」をクリックしても、同期ができます。

お知らせ

- すでに転送されているファイルで、転送元のファイルの方が新しい場合は上書き転送されます。
- 転送元からファイルが削除されていても、gigabeatの方のファイルは削除されません。
- 同期フォルダの下にあるすべての音楽ファイル（MP3、WMA、WAV）または画像ファイル（JPEG、BMP）およびフォルダが転送されます。
- 同期フォルダに、ルートフォルダを設定することはできません。

オーディオデータ転送の設定をする

gigabeat roomを使って、音楽CDからオーディオデータをgigabeatに転送するときの設定ができます。

1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」画面が表示されます。

2 「RipRec」タブをクリックする

「RipRec」の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

スライダを左右に動かし、音質を変更します。

音質を標準値に戻します。

RipRec転送時のファイル名の付けかたを設定します（⇨43ページ）。

4 「OK」ボタンをクリックする

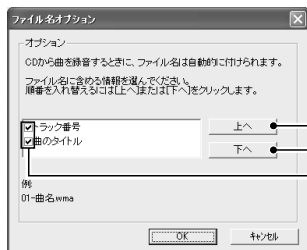
「オプション設定」画面が閉じます。

■ ファイル名の付けかたを設定する

1 「RipRec」タブの「RipRec時のファイル名設定」をクリックする

「ファイル名オプション」画面が表示されます。

2 ファイル名に含める情報にチェックを入れる

3 ファイル名に含める情報の順番を入れ換える

4 「OK」ボタンをクリックする

はじめに
準備する
使用する
その他

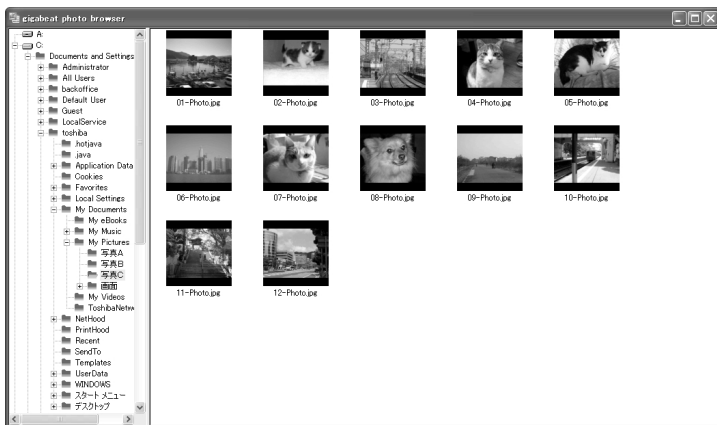
画像ファイルを見る

パソコン内にある JPEG、BMP の画像ファイルを見ることができます。

1 「ツール」メニューの「フォトブラウザ」をクリックする

フォトブラウザが別ウィンドウで表示されます。

2 見たい画像ファイルのフォルダを選ぶ

フォルダ内の画像ファイルが表示されます。

画像ファイルを gigabeat に転送する

JPEG、BMP の画像ファイルを gigabeat に転送できます。転送した画像ファイルは、gigabeat 本体のトップ画面の「フォト」を選んで表示できます。

1 「ツール」メニューの「フォトブラウザ」をクリックする

フォトブラウザが別ウィンドウで表示されます。

2 転送したい画像ファイルを選ぶ

3 デバイスパネルの「gigabeatボタン」にドラッグ＆ドロップする

選んだ画像ファイルが gigabeat に転送されます。

お知らせ

- 転送するファイルのフォルダと同じ名前のフォルダをgigabeat内に作成し、そのフォルダに転送されます。
- エクスプローラから画像ファイルを「gigabeat ボタン」にドラッグ＆ドロップしても転送できます。また、フォルダを選んでフォルダごと、フォルダ内の画像ファイルを転送できます。
- 「同期」機能を使って転送することもできます（⇨39 ページ）。
- ファイル名から拡張子を除いた部分が同じ名称のファイルが転送先にある場合は強制上書きされます。
- 転送できる画像サイズは縦横どちらも 4000 ピクセルまでです。4000 ピクセルを超えている場合は転送できません。

Windows Media Player9 シリーズ／ 10 を使用するときは

Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 を使っても gigabeat にオーディオデータを転送できます。Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 は、Windows Media デジタル著作権管理(DRM)をサポートしており、ライセンス付きWMAファイルにも対応します。
アプリケーションソフトのインストールをしたときに、「Windows Media Playerがインストールされていません。インストールを中止します。」というメッセージが表示され、Windows Media driver for gigabeatがインストールできていなかった場合は、Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 をインストールしてください。
「Windows Media driver for gigabeat をインストールする」➡50 ページ

■ 使用上の注意事項

Windows Media driver for gigabeatをインストールしたWindows Media Player 9 シリーズ／ 10 と gigabeat room は同時に使用できません。

オーディオデータを gigabeat に転送する

Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 を使って、MP3、WMA、WAV のオーディオデータを gigabeat に転送します。

● **準備**

- gigabeat 本体の設定画面の「PC 接続方法」を「gigabeat room」に設定してください。または「接続時に選択」に設定して接続時に表示されるメッセージに対して「gigabeat room」を選択してください。
  Windows Media Player10のサブスクリプションに対応させる場合は、「PC 接続方法」を「Windows Media Player 10」に設定してください。ただし、その場合はUSBクレードル（別売）経由で接続してください。本体のUSB コネクターに直接接続した場合は「gigabeat room」を選択した場合と同じ動作になり、サブスクリプションに対応しません。
  「PC 接続方法」➡「東芝 HDD オーディオプレーヤー取扱説明書」65 ページ
- 転送したいオーディオデータを準備し、パソコンとgigabeatを接続したら、Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 を起動してください。

1 「デバイスへ転送」をクリックする

Windows Media Player 10 の場合は、ライブラリ表示のタイトル名を右クリックして表示されたショートカットメニューの「追加」から「同期リスト」を選びます。

2 転送したいオーディオデータを選ぶ

3 転送先のデバイスとしてgigabeatを選び、オーディオデータを転送するフォルダを指定する

4 「転送」ボタンをクリックする

Windows Media Player 10 の場合は、「同期の開始」ボタンをクリックします。
詳しくは、Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 のヘルプをご覧ください。

お知らせ

- 「PC 接続方法」を「Windows Media Player 10」に設定し、USB クレードル（別売）経由でパソコンに初めて接続した場合、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。このときは付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れてください。必要なドライバが自動的にインストールされます。
- 転送したオーディオデータは、gigabeat roomで転送した場合と同様に、gigabeat用のオーディオフォーマット（SAT ファイル）に変換されます。
- 転送したオーディオデータは、gigabeat内の指定したフォルダにすべて保存されます。ただし、転送の際指定したフォルダ内に新しいフォルダは作成されません。
- 転送したオーディオデータのタグにタイトル名がはいっている場合は、そのタイトル名がgigabeat内のファイル名として保存されます。タグにタイトル名がはいっていない場合は、転送したファイル名が gigabeat 内のファイル名として保存されます。
- 転送するファイル名と同じ名称のファイル名が転送先にある場合は、強制上書きされます。
- ライセンス付きWMA ファイルは、そのライセンス条件によってgigabeatに転送できない場合があります。
- WMA/WAV ファイルは gigabeat に転送する際に以下のように変換されます。

転送前	gigabeat に転送後
WMA Professional	WMA CBR(32kbps ～ 160kbps)に変換
WMA Lossless	WMA CBR(32kbps ～ 160kbps)に変換
WMA Voice	WMA CBR(32kbps)に変換
WMA VBR	平均ビットレートが 32kbps ～ 160kbps の場合： → そのまま転送 平均ビットレートが 32kbps ～ 160kbps の範囲外の場合： → WMA CBR(32kbps ～ 160kbps)に変換
WAV(PCM)	WMA CBR(32kbps ～ 160kbps)に変換

■ ライセンス付き WMA ファイルを gigabeat に転送する場合の注意

Windows Media player 9シリーズからgigabeatにライセンス付きWMA ファイルを転送したときに、お使いになるパソコンの環境によっては次の現象が発生する場合があることが判明しております。現象が発生した場合は、以下の方法で対処してください。

（現象）
「検査しています」を表示したままになり、「転送の停止」ボタンをクリックしても転送を停止することができなくなる。

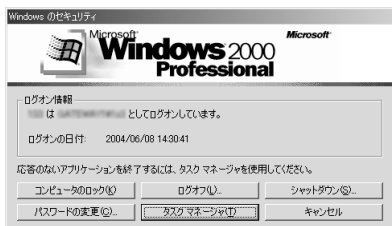
はじめに
準備する
使用する
その他

（対処方法）

1 Windows Media player 9シリーズを終了する

2「Windowsタスクマネージャ」を起動する

（Microsoft Windows XP Home Edition / XP Professional の場合）
Ctl-Alt-Del キーを同時に押す

（Microsoft Windows 2000 Professional の場合）
Ctl-Alt-Delキーを同時に押して、「Windowsのセキュリティ」から「タスクマネージャ」をクリックし「Windows タスクマネージャ」を起動する

3「プロセスタブ」を選ぶ

4 プロセスの一覧が表示されるので、「イメージ名」から「wmplayer.exe」を選択し、ウィンドウ右下の「プロセスの終了」ボタンを押して終了する

おもなエラーメッセージ

エラーメッセージ	内容＆対処方法
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（このオーディオデータはコピー禁止です。）	コピー禁止情報が付いたオーディオデータを転送しようとしました。
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（サンプリング周波数・ビットレートが対象外です。）	gigabeat で対応していない、サンプリング周波数・ビットレートのオーディオデータを転送しようとしました。 （「東芝 HDD オーディオプレーヤー取扱説明書」の「仕様」）
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（コンテンツ保護されたデータには対応していません。）	コンテンツ保護されている WMA 形式のオーディオデータを転送しようとしました（⇨15 ページ）。
指定されたオーディオデータ“ファイル名”は転送できません。（対応していない形式です。）	対応していない形式の MP3、WMA、WAV ファイルを転送しようとしました。
Gracenote CDDB(r)サーバーが見つかりません。	ネットワークに繋がっていないため CDDB のサーバーにアクセスできません。ネットワークに接続後、再度ディスクを CD ドライブにセットするか、内容の更新をしてください。 もしプロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合は、プロキシサーバーのアドレスとポートを設定する必要があります。 プロキシの変更 ⇨ 21 ページ
1）CD の読み込みに失敗しました。 2）デバイスのオープンに失敗しました。CD ドライブが正しく接続されているか確認してください。	取込み中に CD 読み込みエラーが発生しました。CD ドライブや CD メディアの状態を確認してください。

ドライバだけをインストールする

「アプリケーションソフトウェアのインストール」（➡9ページ）を実行すると、gigabeat room、Windows Media driver for gigabeat がインストールされますが、以下のようにドライバだけをインストールできます。

Windows Media driver for gigabeat をインストールする

Windows Media Player 9 シリーズ／10がインストールされていなければ、Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 を先にインストールしてください。
Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてください。

1 付属のソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

CD-ROMが自動認識され、セットアップ画面が表示されます。
セットアップ画面が表示されない場合は、手順3に進んでください。

2「CDを参照します」ボタンをクリックする

CDの中を参照できます。

3 CD-ROMの中の「¥WMD¥Setup.exe」をダブルクリックする

インストールのウィザード画面が表示されます。

4 画面の指示に従ってWindows Media driver for gigabeatをインストールする

Q：gigabeat room で gigabeat が認識されない。

A：USB ハブを使用してパソコンと接続している場合は認識できないことがあります。
USB ハブを使用しないでパソコンと接続してください。

Q：オーディオデータを gigabeat に転送できない。

A：gigabeat で再生できないオーディオデータは gigabeat に転送できません。
gigabeat で再生できるオーディオデータについては、「東芝 HDD オーディオプレーヤー取扱説明書」の「仕様」をご覧ください。

Q：Windows Media Player で取り込んだオーディオデータを gigabeat に転送できない。

A：Windows Media Player で取り込んだオーディオデータのうち、著作権保護の対象となっているものは、転送することができません。「Windows Media Player 9 シリーズ／ 10 でオーディオデータを取り込む場合のお願い」（⇨15 ページ）をご覧ください。

Q：gigabeat の取りはずしに失敗した。

A：gigabeat room や、エクスプローラなどで gigabeat のドライブや gigabeat 内のファイルを開いていると、取りはずせない場合があります。アプリケーションを終了させてから、再度、取りはずしをしてください。

状況：
- デバイスパネルの「gigabeat ボタン」で gigabeat に変更すると gigabeat room が終了する。
- gigabeatを選択した状態で、「Gracenote Playlist」を選択するとgigabeat room が終了する。

対策：　gigabeatをＵＳＢでパソコンに接続し、パソコンのエクスプローラを使用して以下の手順で gigabeat 内の以下のファイルを削除したあと、gigabeat room で gigabeat 内の「ライブラリ更新」を行ってください。

1 フォルダオプションを変更する

1 エクスプローラのメニューの「ツール」から「フォルダオプション」をクリックする
「フォルダオプション」のダイアログが開きます
2「表示」タグをクリックする
3「ファイルとフォルダの表示」の「すべてのファイルとフォルダを表示する」にチェックを入れる
4「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない（推奨）」のチェックをはずす

2 gigabeat内の以下のフォルダ内のファイルをすべて削除する

¥GBSYSTEM¥MUSIC
¥GBSYSTEM¥GN

3 フォルダオプションを元に戻す

1「ファイルとフォルダの表示」の「隠しファイルおよび隠しフォルダを表示しない」にチェックを入れる
2「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない（推奨）」にチェックを入れる

状況 ： gigabeat を起動したが、「NO SYSTEM FOUND ON HDD」と表示され、起動できない。

対策 ： ハードディスク上のファームウェアデータが壊れているため、gigabeat が起動できません。

ファームウェアデータを修復する必要があります。

以下の「ファームウェアデータの修復方法」に従って、ファームウェアデータを修復してください。

状況 ： gigabeat の HDD をフォーマットしてしまった。なにか設定は必要か？

対策 ： ハードディスク上のファームウェアデータを修復する必要があります。

以下の「ファームウェアデータの修復方法」に従って、ファームウェアデータを修復してください。

●ファームウェアデータの修復方法

1 gigabeatとパソコンをUSB接続する

2 パソコンのエクスプローラを起動する

3 gigabeat roomがインストールされているフォルダを開く

「スタート」→「すべてのプログラム」※→「TOSHIBA gigabeat room 2.0」→「gigabeat room 2.0 Program Folder」をクリックすると、gigabeat room がインストールされているフォルダが開きます。

※ Windows 2000 の OS の場合は「プログラム」と表示されます。

通常は C:¥Program Files¥TOSHIBA¥gigabeat room 2.0 となります。

4 手順3で開いたフォルダ内にある「GBSYSTEM」というフォルダをgigabeatのルートにコピーする

5 「ハードウェアの安全な取外し」を使って、gigabeatを取りはずす

6 gigabeatの画面が消えたら、gigabeatを起動する

状況 ： MEGF41 で、OS のフォーマットツールを使ってフォーマットしたため、ハードディスクの全領域を使うことができなくなった。
対策 ： gigabeat format を使ってフォーマットしなおしてください。

● gigabeat format を使ってフォーマットする

1 gigabeat roomがインストールされているフォルダを開く

「スタート」→「すべてのプログラム」※→「TOSHIBA gigabeat room 2.0」→「gigabeat room 2.0 Program Folder」をクリックすると、gigabeat room がインストールされているフォルダが開きます。

※ Windows 2000 の OS の場合は「プログラム」と表示されます。

通常は C:¥Program Files¥TOSHIBA¥gigabeat room 2.0 となります。

2 手順1で開いたフォルダ内にあるGBFormat.exeをダブルクリックする

gigabeat format が起動し、gigabeat format の画面が表示されます。

3 ドライブを確認する

ドライブ欄に、接続されているgigabeatのドライブレターが表示されていますので、確認してください。

※ 画面はドライブが「F」の例になっていますが、お使いのパソコンの環境によって、表示は変わります。

4 クイックフォーマットにするかしないかを設定する

フルフォーマットにしたい場合は、「クイックフォーマットする」のチェックをはずしてください。

5「フォーマット」ボタンをクリックする

フォーマット警告画面が表示されます。

6 フォーマット警告画面の「OK」ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。

フォーマットが終了するとフォーマット完了画面が表示されます。

7 フォーマット完了画面の「OK」ボタンをクリックする

手順 1 の gigabeat format の画面に戻ります。

8「終了」ボタンをクリックする

gigabeat format の画面が消えます。

お知らせ

- 他のアプリケーション（エクスプローラなど）で、gigabeat を参照している場合は、フォーマットできません。
- gigabeat formatでのフォーマットが終わったら、ファームウェアデータの修復も行ってください。

- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくしているために実際とは多少異なる場合があります。
- アイコンの表示位置などは変更になる場合があります。

操作上のご質問、ご相談は以下へお願いします。

東芝モバイル AV サポートセンター
受付時間　月～土（祝祭日、年末、年始等を除く）
　　　　　10:00～20:00
TEL 0570-05-7000（ナビダイヤル）
FAX 03-3258-0470

ホームページもご覧ください。

http://www.gigabeat.net/

株式会社 **東芝**

デジタルメディアネットワーク社

〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

GX1C0007UW10
PX1C0007UWAA